

令和7年第1回田原市教育委員会定例会

- 1 開会 令和7年1月21日 午後1時30分
- 2 閉会 令和7年1月21日 午後2時23分
- 3 会議に出席した委員
伊藤正徳教育長、田中早苗委員、太田孝雄委員、高崎佐智江委員、田中智和委員
- 4 会議に欠席した委員
- 5 会議に出席した職員

教育部長	増田直道
教育総務課長	川口 崇
学校教育課長	峠 尚良
生涯学習課長	山田達也
スポーツ課長	鈴木雅也
文化財課長	天野敏規
図書館長	是住久美子
教育総務課長補佐兼係長	木村真一
- 6 議事日程
別紙のとおり

田原市教育委員会第1回定例会議事日程

日 時 令和7年1月21日(火)

午後1時30分

場 所 市役所南庁舎3階 302会議室

1 会議録署名者の指名

2 教育長報告事項

3 報告事項

- (1) 教育委員連絡報告事項
- (2) 令和7年田原市二十歳の集い出席者について
- (3) 小中学校等への寄付について

4 その他

教育長

開 会 午後 1 時 30 分

それでは、失礼いたします。皆さん、こんにちは。

本日は、何かとご多用のところ、ご出席くださいます、誠にありがとうございます。

ただいまの出席者は 5 名であります。

定足数に達しておりますので、令和 7 年田原市教育委員会第 1 回定例会は成立をいたしました。

これより開会いたします。

教育長

それでは、会議規則第 13 条第 2 項の規定により、会議録署名委員を指名させていただきます。

今回の署名者として、田中早苗委員と田中智和委員のご兩名を指名させていただきますので、よろしくお願いをいたします。

教育長

それでは議題に先立ち、教育長報告を私からさせていただきます。

要綱の 2 ページと 3 ページをお開きください。前回 12 月 13 日の定例会以降、自分が関わったものを挙げております。

この 1 か月の特徴としては、12 月 17 日のバトミントンから始まる表敬訪問が非常に多かった。自分は市 P 連の実践報告会でも言ったのですけれども、非常に子どもたちの頑張る姿を見られたかなと。12 月 17 日を筆頭にして、12 月 23 日、12 月 26 日、12 月 27 日、それから市長の表敬訪問も入っておりますが 1 月 9 日と、それだけの表敬訪問を受けました。

実はここの中には入っていないのですけれども、東部中学校の子どもが、愛知県を飛び出して三重県の朝明高校、朝に明るいと書らしいのですけれども、そのラグビー部で全国大会、つまり花園に行ってトライを決めたということを知っております。なかなか素晴らしいなと。そういうこともあって、田原市の子どもも非常によく頑張っているということもお伝えしたいなと思います。

ただ、惜しむらくは、3 ページの一番トップにある表敬訪問の 12 月 27 日硬式野球で、横浜高校のキャプテンにまでなった、そういう子を田原市とは言わないけれども、せめて愛知県で輝かせるような、そんなふうになったらいいなと自分は思っております。

その他なのですけれども、3 ページのところ、1 月 14 日と 1 月 16 日に陸の孤島となることを想定した防災訓練というのがありまして、ここで自衛隊の訓練を見学させていただきました。能登半島と同じように渥美半島も、南海トラフが来たら大変なことになる。ということで、非常に大規模というか、1 日目の 1 月 14 日は大型ヘリコプターでの輸送訓練。それから 1 月 16 日、僕、初めて見たのですけれども、自走式の橋を架ける車が出てきて、そこを渡る訓練も見ました。

自衛隊の装備というのはすごいなと改めて感じました。自衛隊などの力を借りながら、万が一起こったときはこういうふうに動くといいという、そういう訓練は特に半島である渥美半島には非常に重要なこと、そう思っております。

その他、これも3ページになりますけれども、1月11日、田原市の消防の出初観閲式。ここには華々しいような儀礼服で出て行ったのですけれども、非常に消防団もしっかりしていて、消防署員というか、あそこは本当に規律がびしっとしているのですけれども、それでも地域の消防団もこういう若手もたくさんいるのだなという、安心したというか、こういう人たちが地域の防災を担ってくれば、まだまだ渥美半島の将来は明るいな、そういうふうなことを感じた式でありました。

その他1月12日、二十歳の集いはこの後また生涯学習課から報告があると思っておりますので割愛をさせていただきます。

最後になりますけれども、1月18日に市P連の連絡協議会の実践発表会と教育講演会がありました。中山小学校のPTAが非常によい発表をされたかなと。またあそこで使われたプロジェクター、非常に素晴らしいというか、感心をいたしました。いい装備を備えるのは重要なこと。

併せて教育講演会ですが、実際にディズニーランドで働いていた沖口直子さんという方の講演を聞きました。ディズニーランドを夢の国にするためには、ああいうような努力と、それからノウハウが必要なのだというのをあらためて感じて、それを教育に持ってきたときはどうするか。子育てに持ってくるのはどうしたらいいかという、そういうのを考えるきっかけになって、非常によかったかなと思っております。

ということで、簡単ですけれども、自分の報告といたします。

自分が報告した中で、何か質問等はございますか。はい。どうぞ。

田中早苗委員

お願いします。1月16日の陸の孤島となることを想定した防災訓練とあるのですけれども、こちらは一般の人の見学はどうだったのですか。

教育長

地域の方が渥美方面と田原方面に限らず来ていました。多くは市の自治会の会長や市民館長さんであるとか組長さんであるとかが中心だったけれども、一般の方もおられました。

田中早苗委員

そうなのですか。やはり興味深いと思うのですよね。

教育長

それはもう、あれだけ自衛隊の結局大きな装備が来るというのはそうないし、自衛隊というのはいろいろなものを動かせる。自衛隊も全ての装備を自衛隊から持ってくるのではなくて、大規模災害が起きたときは、それぞれの地域にある重機、クレーンであるとか、ブルドーザーであるとかトラックだとか、あれを自衛隊が借りて自衛隊が動か

田中早苗委員

す。だから、自衛隊というのは、全ての免許を持っているということで、それも感心させられるところでした。自衛隊になる人というのが減るといのは駄目なので、自衛隊というのはすごいんだぞという、そういうような教育をするのも大事ななと思いました。

私、地元が豊川市なので、駐屯地が身近に、子ども会で見学に行ったり、そういうことがあったのですが、田原市という、こういう行事でないと自衛隊に触れられないので、進路を考える子たちにも見ていただきたいなと思いました。

教育長

ありがとうございます。

その他どうでしょうか。

ご質問もないようですので、これにて教育長報告を終わらせていただきます。

教育長

続いて、報告事項に入りたいと思います。

はじめに、教育委員会の皆さま方からの連絡、報告事項を順次お願いしたいと思います。

それでは、田中早苗委員からよろしく願いいたします。

田中早苗委員

お願いします。私から3件報告いたします。

12月18日に高校生による学校説明会に参加した高校生と中学生の話聞いてきました。これは市内3高校に進学した卒業生が、中学2年生に対し、母校で高校の説明をするというものです。今まで高校の教員が各中学校で行う合同説明会がありましたが、今回は生徒が説明するというので、より身近にリアルな声が届けられたのではないかなと思いました。説明会に赴いた高校生が、事前にスライドを作ったり、校長先生や教員の方と話し合い、学んだそうで、緊張しつつも恩師に会えたり、高校2年生ですと中学2年生は小学校の後輩ぐらいで、あまり仲のよい子には会えなくて、少し残念だったらしいですけれども、うれしいこともあったようです。

中学2年生は授業の話が参考になり、受験への実感が湧いてきたそうです。私個人の意見ですが、旧渥美地区の生徒は市外へ通学となると、どうしても時間と交通費がかかってしまうので、市内に進学すると、その負担が減りますし、特に時間というのは有意義に使ってほしいと思います。実際、私の息子は通学時間を節約できて、勉強も部活動も日々バランスよく楽しめています。非常に個人的ですが、成章高校のパンフレットがカラーになっており、今まで白黒でしたので、他の2校と肩を並べられてうれしいなと思います。

2件目です。1月12日、田原市二十歳の集いに参加してきました。晴れ着姿の二十歳の若者を眺め、今後の田原市も晴れやかだなという気持ちで、今後の田原市を頼むよという気持ちになりました。最近、聞いたのですけれども、ママ振りという言葉があって、母親の振袖を

娘さんが着るといふものなのですからけれども、着物というものは古いものでもとてもよいものであったり、それを仕立てていただいた祖父母と3代わたって幸せが繋がって親孝行なことだなと思いました。

3件目です。1月18日、田原市小中学校PTA連絡協議会、実践発表会、教育講演会に参加してきました。中山小学校というのは中山っ子の笑顔の花を咲かせよう。家庭、地域との連携を大切にしたPTA活動ということで、これからの時代に求められつつ、認められつつも、都会では敬遠されがちな地域全体で子どもに関わるということが、中山小校区の方は熱心に活動されているなと思いました。子どもは地域の宝ですので、巣立っても戻ってきたくなる地域作りを続けてほしいなと思いました。

続いて沖口直子さんによる子どもをやる気にさせるディズニー流魔法の言葉掛けについてですが、私も以前から興味があった脳の特性という部分で、脳は人称を理解できないという特性があるのですけれども、そうそうとうなずきながら聞いていました。人称が理解できないので、他人に掛けた言葉をそのまま自分に言った言葉と受け止めてしまうのですけれども、そうすると日々ネガティブな言葉よりもポジティブな言葉を使うように心掛けたほうが、自分にとってもよいということです。当事者でなくとも、共感力の高い人ですと、周囲の会話を自分事のように受け止めてしまって、その単語に左右されてしまったりもします。私がこのことを知ったのは子どもが高学年になってからでしたので、もっと早く知りたかったなと思ったのと、もっとたくさんの人に知ってもらって、意識してもらいたいなと思いました。

以上です。

教育長

はい、ありがとうございました。特に1点目、田原の子が田原の高校を大事にしてくれるといいなというのは、節に思いますね。

はい。太田委員よろしくお願ひします。

太田孝雄委員

お願ひします。私は二十歳の集いと、市P連のほうの実践発表会、教育講演会、皆さんと同じ会のほうへ出席いたしましたので、印象に残ったことを報告させていただきます。

二十歳の集いにつきましては、現職の頃から、ちょっとブランクもありましたけれども、十数年この会に出させていただいておりますけれども、もう年々落ち着いた整然とした式になっているなということを実感しております。受付のところでしたらおりましたけれども、小学校区ごとの受付箱があったりして、以前ですと、市役所の係の方がもう大きな声で呼び掛けていましたけれども、そういうこともなく、大変スマートにスムーズに動いていたように思います。

二十歳の代表の方々も、それぞれの校区の代表とても落ち着いて、会のほうの運営をしていて素晴らしいなと思いました。昨年と違って今年、新たにお礼の花、サンクスフラワーという説明がありましたけ

れども、あれはJ Aの関係のものだと思いますけれども、ふるさとに愛着を持つという意味で、田原市をより実感するという意味で、式典の中に取り入れたのは、とてもよかったのではないかなと思いました。

それからもう1点は、代表の子がステージに上がっていくのに階段を上がっていきますけれども、多分、今年からではないかなと思いますけれども、手すりがついていて、きれいに着飾った代表の子が上がっていくのに、ああいう手すりもお年寄りだけではなくて、若い人もああいうの必要ではないかなということで、とてもいいアイデアだと思います。

それから、市P連のほうにつきましては、中山小学校、大昔、私もあそこに教育実習に行ったものですから、比べますと全校児童144名ということで、とても人数が減ってきて、地域があるいは家庭や地域と学校とのより連携というか、そういうことがより強まってきているなということ、発表を聞いて感じました。係の人たちも、とても上手に発表されましたし、先ほど教育長さんが言われましたような、画像がとても鮮明で、いい機械だなということも私も同じく思いました。本当に画像がとてもきれいで素晴らしいなというふうに思いました。

講師の小柳津先生のお話の中で、子どもの成長には多くの方が支え合っていることを認識をして、PTA活動というと、とてもどっちかということ皆さん避けていく役のように思いますけれども、小柳津先生が子どもたちのために活動する喜びを、嫌がらずにそういう喜びのあれであってほしいというような、ああいう投げ掛けもとてもよかったなと思いました。

それから講演の沖口直子さんのお話は、実際にディズニーで働いた経験とそれから脳科学のお勉強をいろいろされたということで、とても説得力のあるいいお話だったと思います。私が印象に残っていることは、人間操縦型と成長支援型と、こういうような子どもへの接し方のお話をされましたけれども、頭では成長支援型というふうにしたほうがいいということが分かるのですが、実際の日々の生活の中で、ゆとりがなかったり、人間ですので感情的になったりすると、どうしても人間操縦型に動いてしまうのですが、頭の意識の中で成長支援型を目指すということを思っていることが大事だなということ、そのお話を聞いて感じました。

以上です。

教育長

はい、ありがとうございました。それでは高崎委員よろしく申し上げます。

高崎佐智江委員

失礼いたします。私は3件、申し上げたいと思います。まず2件は市の先ほどから皆様方と同じで田原市二十歳の集い、そして田原市小

中学校PTA連絡協議会です。別件といたしまして私の所属している団体でお世話になりましたけれども、1月の16日木曜日に、田原南部小学校の子が法人会女性部会長賞ということで表彰式に参加をさせていただいております。

まず最初の二十歳の集いから申し上げたいと思います。太田先生のお話しされたことと同様でございますけれども、本当に落ち着いて穏やかなお子さんたちだなと思いました。とともに、私の疑問ですけれども、私も31から20代半ばの子が3人いるのですが、あの子のみんなの元気は今の時代の子はどこに行ってしまったんだろうなという疑問が、本当にあの頃は市役所の方々が、本当に一生懸命、皆さんの人員整理をされていらっしゃったのに、何か事務的にきれいに本当に滞りなく素敵なお式で、厳かで、それはそれですごく感動したのですが、お子さんたちがすごく何がどう変わっているのかということが、私の疑問の中に。そういったことが教育改革ですとか、教育としては、一番、見ていくところなのかなということを思われました。

次に、田原市小中学校PTA連絡協議会に参加をさせていただきまして、中山小学校、本当に皆さん方がアットホームで、団結力があって、素晴らしいと拝見をいたしました。皆さんのおうちの方が、それぞれが積極的に参加されているようにお見受けをいたしましたけれども、私もPTA時代を思い出しますと、先ほど太田先生がおっしゃったように、皆さんどちらかという避けられる方が多かったと思っています。与えていただいたときには積極的に参加をさせていただいて、自分が楽しむようにしたということで、後の沖口先生のお話につながるのですが、一つの物事に対して、見方、フォーカスを変えると、かなり受け取り方と進展が違ってくるのではないかなということも思われました。

そして、沖口先生の話の中で、NLPというワードが出たのですが、コーチングをされている方でNLPというのは当たり前のように認識されていることだと思います。私も少し学ばせていただいたのですが、先ほどの人間操縦型と成長支援型。心の中で分かっているけれども、特に子どもに関しては子育てと母親という視点で見ますと、皆さん本能が出てしまうと思います。本能が出てしまうということは、自分に余裕がないとストレートに人間操縦型に回ってしまうのではないかなと思います。

ですが、この潜在意識という、脳が認識する脳科学を知ると、潜在意識は主語が認識できません。ですので、自分の中で、ある意味、余裕を持つということが一番大事で、周りの理解が大切なのですが、自分の中でこれは脳が認識できるようにトレーニングしていくということも、いわゆる刷り込んでいくということも大切なのではないかなと思いました。このフォーカスを変えるということが、本当にお子さん

たちにも同じことが言えるのではないかなと思います。

小柳津先生のおっしゃっていた言葉で印象的だったのが、地域の中で何ができるかを発見し、行動していく、ここが素晴らしいとおっしゃってました。これは大人になって成長するにつれて、今の環境の中で何ができるか。自らが発見し、自らが行動していく基礎の力だと思います。そういったことを地域の方々が育て、そしてお子さんの成長をアットホームに見守っていただける中山小学校の姿勢を拝見することができ、とても有意義な時間を過ごさせていただいたように思います。

最後に、田原南部小学校なのですけれども、田原南部小学校もとてもアットホームで、女性部会長賞というのを受賞された子に賞状を渡させていただいたのですけれども、職員室で今の教育改革に後退しているような気がして申し訳ないですというようなことをお伝えしましたが、そうではなく、逆に部活動等がなくなっていくのって、これはすごいありがたいこととおっしゃっていただいて、先ほどのお話のとおり、見方を変えるってすごく大事で、それがお子さんの成長につながっていく。そして田原南部小学校、素晴らしいのが、1枚の出演で1枚の受章。だからうちのエースですと、あの先生がおっしゃってましたけれども、ここの全員の教育としたら。でもそういった子が少ない人数の中で学校を引っ張っていかれるということも素晴らしいのではないかなと拝見しました。泉小学校には本当にご協力いただいて、感謝の気持ちでいっぱいです。

以上です。どうもありがとうございました。

教育長

ありがとうございました。最後に、田中智和委員、よろしく願いいたします。

田中智和委員

失礼します。私からも3点報告させていただきたいと思います。

まず1月15日に神戸小学校にてゲストティーチャーとして、私の地区の青津神楽のお祭りを紹介させていただきました。3年連続になるのですが、コロナ前の何年か前には実際に人も集めて、みんなの子どもたちの前で獅子舞を披露して、獅子舞の説明をしたりしました。コロナ入ってからは、私1人で行ってまして、小学校のほうに横笛、篠笛、竹製ではないのですが、プラスチック製の笛がありまして、獅子舞の説明とビデオとDVDと笛のほうをみんなで吹いて、笛の難しさ、そして青津神楽は保存会とかではなくて、村の若い人だけでやっているのですけれども、どうしてそれを若い人だけでやるのかみたいな。なぜ獅子舞なのかとかいう話で、子どもたちも大変盛り上がりました。小学校3年生を対象に行っています。

続きまして、1月18日の市P連の講演会に参加させていただきました。まず、中山の発表ですごい思ったのが、持久走大会が外で実際、道路で行われるということで、それを家に帰って言ったらすごい羨ま

しがって、景色が変わるのがいいねという話で、私も今年、応援行きましたけれども、グラウンドで同じ景色で、ぐるぐる回って最初から最後の子も見れるのですけれども、外でやるとまた違った景色があって、スタートとゴールがはっきり分かれて、すごい羨ましいなと思いました。

あと、プール開放もなかなかできないのに、中山は今年やれたということで、素晴らしいなと思って。人数が少ないなりに自由と言ってはなんですけれども、やりたいこともやろうと思えばやれる学校なのだなと思って、すごい羨ましく思いました。

そして、沖口さんの話も大変参考になり、まだまだ下の子が小さいので、これから実践していきたいなと思います。

そして、最後に3点目ですが、12日の二十歳の集いには出られなかったのですが、子どもたちの春季剣道大会に蒲郡市民体育センターへ行きまして、午後からは中学校の新人戦がありまして、そちらで田原勢は田原中学の男子は2回戦、東部中学校の女子も2回戦、東部中学校の男子がベスト6になって、県大会出場を決めました。あとの参加のチームは1回戦負けとなります。中学もクラブ活動が行われているところは行われているのですが、剣道はまだ進んでいなくて、東部中学校でクラブ活動をやっています、そこに赤羽根の子や田原中学の子も中山の山田敦先生を通じて、顧問の先生に連絡していただいて、今、参加していただいている状態で、一応そこに正式に加入している方は、保険を自分たちで集めてかけてやっている段階でして、早く各地区にクラブ活動が根付いて、地域移行がスムーズにいけばいいなと思っています。

最後に、少し余談ですが、先ほどの教育長のラグビーの話なのですが、私の在所の子で、いとこの息子でありまして、昨年も花園に出まして、昨年は1回戦九州学園相手に勝利して、2回戦に進んでいく。そのときに、表敬訪問どうだっていう話もあったのですが、3年で最後、決めてからという話もありまして、今回、結果的には負けたのですが、しっかり本人もトライを決めて、身長も大きくない子なのですが、本当に努力でやった子なので、みんなで応援していきたいなと思います。

以上です。

教育長

はい、ありがとうございました。表敬訪問してもらえれば、広報にも出すことができるし、また広報に出れば、田原の子たちをさらに元気づけることができるもので、またぜひ、確か下の子も行くとかあったのですよね。

田中智和委員
教育長

はい。

また楽しみにしておりますので、伝えてください。はい。ありがとうございました。

生涯学習課長

それでは次に、報告事項の（２）令和7年度田原市二十歳の集いの出席者について、事務局から報告をお願いいたします。

それでは生涯学習課から報告いたします。

資料4ページ、5ページでございます。令和7年田原市二十歳の集いの関係資料の中で、今、4ページのところに、冒頭、人数等が記載してございます。まずもって、この式典に、教育委員の皆様のご参加、ご出席くださりまして、本当にありがとうございました。

併せて、先ほど来からのPTAの1月18日の講演会につきまして、ご出席くださり、本当にありがとうございます。

では戻ります。4ページですけれども、これは校区別の出席者の一覧表をつけてございます。出席者ですけれども、対象者が全体で787名でございました。それに対して、男子が270名の58%、女性が239名の75%、合計で510名の方が出席をしております。対象者が787名でしたので、510名ですと出席率は約65%という、そういう状況でございます。

ちなみに、令和6年度は約70%ということで、今年度は少し低かったのですけれども、要因はなかなか分析はできておりませんが、引き続き、二十の集いの実行委員会のメンバーが5名みえるので、来年度もそういったメンバーを募って、企画から当日の運営に至るまでご支援いただくように考えています。この式典に参加される全ての方の記憶にしっかりいい形で残るような、そういうイベントにしていきたいというように、引き続き取り組んでまいりたいと思っております。

5ページのところには、当日の様子がそれぞれ写真で添付してございます。委員さんの中に、当日参加されて、整然とした式、おとなしいような、そういう印象を持たれたと思いますけれども、実は市長も、部長にかなり静かすぎるのではないかなみたいな。そういうコメントが市長からあったようで、例えば拍手で合間合間にアクセントをつけるとか、少しメリハリをつけるようなことももう少し、そういった工夫は必要なのかなというように考えております。

また、今回初めてサンクスフラワーという取組をさせていただきました。やはり地域は農業が盛んで、花きが全国1位ですので、その辺りのことは二十歳の方々に知っていただきたいという意味もありますし、花は全てJA愛知みなみさんのほうからご提供くださっていますので、来年は来賓とかいうようなことも少し考えてみようかなというように、今のところ考えておるところです。

簡単ですけれども、二十歳の集いについてご報告させていただきます。

以上です

教育長

はい、ありがとうございました。生涯学習課長、少し確認するけれども、この写真は課長さんが撮ったものですね。

生涯学習課長 教育長	これは、広報が撮っている写真も含まれています。 写真集に載る写真ではないよね。
生涯学習課長 教育長	はい、写真集に載る写真ではありません。 そうよね。なんでそんなこと言ったかという、記念写真の一番下のほうで顔が切れてるもので。これだったらちょっと気の毒だなとは思ったので。そうでなかったならいいです。
生涯学習課長 教育長	ちゃんときれいに載っています。それぞれの中学校区で2枚ずつ写真を撮っていて、どちらがいい写真なのかを見比べて、両方ともちょっとまずい状態の場合、例えば眼鏡の方は光がちょっと写り込んでいて、目が光っている場合などは、補正をかけます。 そういこうことね。せっかくの、一生に一度、二度も三度もあつては困るけれども、その写真ですので、できたらきれいなものをあげたい。特に女の子たちは、もうこれだけ華やかに飾るのはそうないかなと思うので、ぜひ立派な写真集に仕上げしてほしいなと思います。
田中早苗委員	それでは、これについて何かご質問等あったらよろしくお願ひします。はいどうぞ。 私、偶然ですけども、ティーズでこの模様を見まして、1人1人インタビューしている子たちの受け答えが、とても胸に響くものがある、とてもいい式であったなと再度、思いました。ありがとうございます。
生涯学習課長 教育長	ありがとうございます。 はい。またぜひ、実行委員の皆さんに伝えていただけたらいいかなと思います。その他どうでしょう。 それでは、田中智和委員よろしくお願ひします。
田中智和委員 教育長	1点いいですか。 はいどうぞ。
田中智和委員	この衣笠の男子の人数というのは、これは小学校から人数ですか。トヨタの寮の人数も入ってますか。
生涯学習課長 田中智和委員 生涯学習課長	男子の人数ですよ。入っています。 その子たちの参加人数も入ってるわけですね。 入っています。もともとの衣笠校区の子どもたちの他に、トヨタの寮とか、そういったところに入っている二十歳の子もみえています。頭数に入っています。
田中智和委員	その子たちは地元に戻ったりは、してはいないですかね。このパーセントで見ると。
生涯学習課長	一応今こちらのほうに住所を移されていますので、こちらの住所地で受けられた方もいますし、もしかしたら地元のほうに戻られた方もいるかもしれません。
高崎佐智江委員 生涯学習課長	何月何日現在で、田原市在住みたいな形ですか。 そうですね。これは住民基本台帳から出しています。

田中智和委員	ありがとうございます。
田中早苗委員	男子の参加率22%なので、きっとトヨタの方、出ていないのではないですかね。
太田孝雄委員	地元の方が多いですか。
生涯学習課長	そうですね。地元の方が多いです。
教育長	でも、地元にしてもちょっと少な過ぎますね。
生涯学習課長	少ないですね、31名では。
教育長	他の校区と比べても、中部だとか童浦と比べても、あまりに22%は少な過ぎるので。
生涯学習課長	そうですね。ちょっと少ないですね。
教育長	何か理由があるのかな。
田中智和委員	他の小学校と同じ単位で見ってしまうと、出席率が低いみたいに余計見えてしまうかなと思ったので。
太田孝雄委員	ただ、地元に戻って成人式に出るということですね、トヨタの方は。ただ、もともとの方も参加が少ないということですか。
生涯学習課長	両方の要因ですかね。
教育長	そこまではなかなか分からないところもありますので。よろしいですかね。
教育総務課長	それではご質問もないようですので、次に報告事項の（3）小学校等への寄附について、事務局から説明をお願いいたします。
	小学校等への寄附についてご説明いたします。資料は6ページをご覧ください。
	6ページは、令和6年度の教育関係寄附一覧ですが、1番から9番までは、既に以前に報告をさせていただいていますので、今回は10番と11番の報告をさせていただきます。
	10番は、令和6年12月20日に株式会社ジェイテクト様から、市内の22小中学校で、まち・ひと・しごと創生寄附活用事業を応援するためということで、キレイキレイ薬用泡ハンドソープの合計1,320個のほうをいただいております、各小学校小中学校の方へ配布をしております。
	11番目は、令和7年1月15日に、田原市文化遺産地域活性化実行委員会、会長、長神利行様から、市内18の小学校図書館等に、地域の文化財の普及啓発のためとして、絵本「熊金としんちゃん、凧と遊ぶ」こちらを26冊いただいております。
教育長	以上、報告とさせていただきます。
教育総務課長	はい、ありがとうございます。それではこの寄附について何かご質問等あったらお願いします。この図書館等の等はなんでしたか。
教育長	ふるさと教育センターにも1冊、寄附をしまして、図書館が5冊、ふるさと教育センターが1冊、あとは小学校となります。
教育長	その他よろしいですか。

教育部長

それではないようですので、以上で報告事項を終わります。

その他、事務局から何かございますか。

それでは、よろしく申し上げます。資料の9ページをご覧ください。よろしいでしょうか。これ報道機関へ発表しているということで、皆様ご存じの方もいると思いますけれども、1月16日の中日新聞に載っておりましたけれども、令和5年度子ども・子育て支援施設整備交付金の返還についてということで、童浦小学校の横に体育館に併設する形で童浦児童クラブの施設整備が進んでいるのですけれども、その補助金に対しまして、交付金の繰越申請というのがございまして、それを怠ったことによって、交付金のうち375万6,000円を返還ということでございましたので、これを報告させていただきます。

10ページをご覧ください。まず概要でございまして、教育部生涯学習課が担当しております新童浦児童クラブ施設整備に係るこちらの交付金の申請におきまして、令和5年度と令和6年度の2か年にわたる事業なのですけれども、令和5年度分の工事進捗率が60%という形で本来あるべき事業を進めるところを、それに満たないものについて60%で進めてしまったものですから、それに届かない分の375万6,000円を返還するということになりました。

返還に至った経緯ですけれども、先ほど申し上げたとおり、返還の事務が60%に届かなかったものを進めてしまったということでございます。

この2つ目のポツをご覧ください。この工事につきましては、建物工事と機械工事と電気工事の3つの契約に分かれておったのですけれども、この3つの工事いずれも60%に満たしておりませんでした。

このため、令和5年度の年度内に交付金の繰越しを行う、この部分については処理するという手続きが必要であったのですけれども、これをやらなかったものですから、国の交付金を申請どおり全部、受けてしまったものですから、届かなかった分の返還が生じるということで、その進捗率が42%だものですから、超過交付額の375万6,000円が出たということでございます。

今後ですけれども、3番の今後の対応につきましては、この交付金を指定期日2月28日までに国のほうが返還せよという通知が来ておりますので、この手続きに基づいて返還をしてまいります。

再発防止策でございまして、今後は課内での業務に対する共有意識を持って、必要な手続きが相互に気をつけて遅れないように、また国と県との連携を図りながら、そういったチェック体制を取りながら、再発防止していきたいということでございます。

これに伴う関係職員の処分でございますけれども、処分日がこの1月15日でございます。2名ございまして、まず市民環境部の係長は40歳代男性。これ当時の担当係長なのですけれども、戒告でございま

す。それから教育部の主事60歳代、男性。これ当時の課長ですけれども、戒告でございます。

これに併せまして、市長のコメントが発表されております。6番です。このような事態が発生したことは誠に遺憾であり、市民の皆様の信頼を損ねる事態となり、多大なるご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。今後このような問題を二度と起こさないよう、再発防止に向けた取組を徹底してまいり、全庁一丸となって信頼回復に努めてまいります。

その他なのですが、本懲戒処分事例に関しまして、懲戒に至りましたので、私、所管部長として訓告処分をいただいております。

なおですけれども、この本件につきましては、2月3日の田原市議会臨時会が開催予定ですので、そこに当該返還金の375万6,000円を補正予算として上程させていただくとなっております。本来この場に諮るのは不本意でございますけれども、臨時会の告示日が1月27日ということで、現在、この補正予算の調整中でございますので、大変申し訳ございませんけれども、次回の教育委員会定例会に、改めて報告させていただきますので、ご承知おきいただきますようよろしくお願いいたします。今回につきましては、誠に申し訳ございませんでした。

以上です。

教育長

事務局、ほかに何かありますか。よろしいですか。自分も現教育長として処分書を交付したのですが、戒告という業務に対する、履歴書にも記載される重い処分が出たなということで、もうやってしまったことは仕方がないのだけれども、以降、これが若い人たちにいわゆる教訓として生かされるよう望みますと、そんな言葉掛けしかできなかったのですが、また今、部長、言われたように再発防止には全力を傾けていこうと思っておりますので、よろしくお願いをいたします。

それでは、その他について何か事務局からありますか。どうぞ。

教育総務課長

それでは、資料の12ページをご覧ください。12ページのほうは、教育委員出席日程案。今後のスケジュールについて資料をつけさせていただいております。本日の1月21日以降のスケジュールをつけさせていただきました。

この資料の中で、下線が引いてあるものがあります。こちらは前回お示ししたスケジュール内容から変わっておるものが下線が引いてあります。修正や追加があったものになっております。

資料をご覧ください。本日の第1回定例会の後、15時30分から奨学金受給者選考委員会を行います。太田委員さんのご出席をお願いいたします。

1月24日ですが、こちら東三河管内教育委員代表者会議。こちら蒲郡市民会館で13時30分から行われます。こちらには教育長さんと田中

早苗委員さん。終了後、東三河管内市町村教育委員研修会が15時30分から同じく蒲郡市民会館で行われますので委員の皆様方のご出席をお願いしたいと思います。

なお、席上にご案内をお配りしてあるかとは思いますが、当日は田原市役所北玄関に午前11時集合ということでお願いしたいと思います。

その次でございますが、1月28日火曜日は給食週間、招待給食といたしまして、田中早苗委員さんのご出席をお願いしたいと思います。こちら12時から田原中部小学校、こちらで招待給食を行いますので、よろしく願いいたします。

続いて2月4日ですけれども、愛知県市町村教育委員会連合会理事会、こちらが長久手市で14時から行われます。田中早苗委員のご出席をお願いいたします。

2月18日。こちらは前回の資料から変更になっておりまして、田原市教育委員会表彰選考委員会。こちらを10時から政策会議室で行いたいと思いますので、教育長、田中智和委員のご出席をお願いいたします。

2月21日金曜日ですが、こちら東三河小中高特連携教育推進協議会が10時から東三河総合庁舎で行われますので、教育長、田中早苗委員のご出席。同日午後、14時から教育委員会第2回定例会を政策会議室で行う予定です。

その後、午後4時から同じ総合教育会議を同じく政策会議室で行う予定としておりますので、ご出席をお願いいたします。

3月7日。こちら中学校卒業式がございます。それぞれ記載のとおり、東部中学校には田中智和委員、田原中学校には高崎委員、赤羽根中学校には太田委員、福江中学校には田中早苗委員のご出席をお願いいたします。

その下3月19日水曜日ですけれども、こちら小学校の卒業式がございます。こちらそれぞれ記載のとおり、田原南部小学校に太田委員、童浦小学校に高崎委員、野田小学校に田中智和委員、中山小学校に田中早苗委員、福江小学校に教育長ということで、お願いをしたいと思います。

3月25日でございますが、田原市教育委員会表彰の表彰式を、10時から田原市役所6階の講堂で行う予定で、同日午後、教育委員会の第3回定例会を13時30分から302会議室で行いますので、ご出席をお願いいたします。

3月31日でございますが、教育委員会第1回臨時会といたしまして、10時から600会議室で行いたいと思います。同日11時から、教職員の退職者辞令交付式を市役所の6階の講堂で行う予定でございますので、委員の皆様方のご出席をお願いいたします。

教育長
文化財課長

それ以降、下の表につきましては教育関係のイベントがこちらに記載のとおり開催されますので、またご覧いただければと思います。よろしくお願いたします。

その他ございますか。どうぞ。

お手元に、分厚い報告書が届いているかと思いますが、昨年度に発表されたものでありまして、非常に長く皆さんにお渡しするのに時間かかってしまったので、申し訳なかったのですが、その内容を、訂正のほうをかなり訂正文のほうが入れていると思いますので、そういったものを精査する関係でお配りさせていただくのが遅くなったということで、今年度もそちらのほうの続きの研究総括編という報告書を今、現在作っておりますので、また2冊併せてご覧いただければと思います。

以上です。

教育長

ありがとうございます。またぜひ学校に行って、写真やら実物やらを見せて、子どもたちの興味を引いてくれたらいいなと思っておりますので、よろしくお願いたします。

その他いかがでしょう。

教育総務課長

ございません。

教育長

委員の皆さんからはどうですか。よろしいですかね。

ないようですので、以上で本日の議事は全て終了をいたしました。

これをもちまして、田原市教育委員会第1回定例会を閉会とさせていただきます。

ありがとうございました。

閉 会 午後2時23分

教育長

委員

委員